

ゆく河の流れは絶えずして…

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

矢崎橋のもとにチョコレート色の瀟洒な建物・悠々園が建てられたのは何時の頃だったろうか。ボランティアセンターの要請で昨年4月から、月に2~3回真光寺川沿いに歩き郷土史・古典文学のトークに通っている。毎朝の散歩を兼ねた下堰観察に加え、矢崎橋までのウォークが増えたことになる。昼下がりの真光寺川は夜明けとはちがったのどかな表情みせている。先日はAグループの方々と方丈記の序文を斉唱した。「行く河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にはあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。」名文である。現在3月、下堰親水のあたりは蕭条たる冬景色である。しかし自然は暫しも止まることなく随所に春の気配が感じられる。師走から陽春へ、下堰の四季の移り変わりを記してみたい。

{12月上旬}

日の出、6時32分。快晴の日が多い。温暖な日が続いていたが5日から寒気が厳しくなる。快晴の朝は放射冷却と云うのだろうか、気温は氷点下になり池は厚い氷に閉ざされる。水温は常に気温より2~3度高い。透視度は90前後、だがプランクトンのせいだろうか黒ずんで見える。藻は川底に息を潜めている。コイは7~9匹遊泳。カモは仲間と群れ、セキレイが軽快に舞う。権現橋際の冬桜はもう1月余り花をつけている。ツツジも一部季節外れの花をつけている。藤棚の下のベンチに書類の詰まったリュックサックが10日ほど放置されていた。気がついたらなくなっていた。

4日、昼下がり、悠々園へ。カモが3~4羽ずつ随所に群れて昼寝を楽しんでいた。

{12月中旬}

日の出6時39分。相変わらず快晴が続くが寒気は厳しい日が多い。街路樹の銀杏は殆ど散る。透視度はほぼ90以上、水底が鮮明に見える日が多い。藻は縮こまっている。ツツジのアダ花は、ようやく散り始める。冬桜は相変わらず頑張っている。

11日(水)「通信」発行、一木会支所で通信の発行業務。出席5名、繰り上げ投票の人が多数。6時から魚民で一木会。出席5名。水流さんも出席して下さり活発な意見が交わされ有意義であった。

12月14日(日)清掃作業

快晴、霜が降りていたが次第に暖くなる。14名参加。ボランティアセンターの紹介で町田高校1年生が2名参加してくれる。志田さんがミニ水族館を展示し道行く人々がのぞき込む。能ヶ谷いこい会館は餅つき大会で賑わっていた。ゴミ30袋と傘。11時30分終了。女子高生爽やかな笑顔を残して帰って行く。

15日、昼過ぎ悠々園へ。カワセミが川下へ矢のように飛翔して行った。

{12月下旬}

22日は冬至、日の出6時50分。快晴が続く気温は零度以下を記録することが多くなる。28日、久しぶりの雨、増水し流れは黄緑色に濁る。カモは寒気にめげ



ず喜々として遊泳している。スズメの群が目につく。日によってコサギが優雅な姿を見せることがある。ツツジのアダ花は殆ど消える。冬桜は咲き続ける。藻、川底一面に張りついている。

26日、昼過ぎ悠々園へ。コイは遊泳、カモ随所に群れ昼寝を楽しんでいた。

{1月上旬}

元旦は雲一つ無い美しい夜明けだった。6時50分太陽が昇り河沿いの建物があかね色に染まる。初詣の群れが権現橋を渡って行く。晴天の日が続く。寒に入り池は厚い氷に閉ざされている日が多い。カモの一家はいつもご機嫌だ。コサギが屢々姿を見せようになる。ほっそりした首をかしげる姿は優美そのものだ。5日には池の中で魚を啄んでいた。河はおだやかに流れコイが悠々と遊泳している。透視度90。藻、少し茂る。寒桜咲き続ける。サザンカ散る。

{1月中旬}

夜明けは相変わらず遅い、6時51分。晴天が続く寒気いよいよ募る。15日久しぶりに一雨あった。16日、権現橋たもとの里桜の梢に十数羽のムクドリが群れていた。寒桜ようやく散り始める。河はおだやかに、だが青黒さをたたえ流れている。藻階段や河底に張り付き繁茂する気配。

11日(日)ウォーキング

小机・鶴見川流域センターを訪ねる。参加者6名。9時半、鶴見川集合。町田經由横浜線で鴨居駅下車→小机駅まで散策→鶴見川多目的遊水地→鶴見川流水センターへ。所長が最近の鶴見川の状況を説明して下さる。水質は改善し魚も増えている由。小机駅近辺のラーメン屋で新年を寿ぎ乾杯!

{1月下旬}

日の出6時49分。暦の上で大寒にいる。曇天、雨の日が多くなる。29日は終日雪下堰一帯は積雪に埋まる。河は少しく増水し茶褐色に濁りコイの影はみえない。川底は全く見えない。藻も濁水で見えない。寒桜、完全に散る。カモは雪景色に喜々として群れている。セキレイ舞う。

25日の午後、悠々園へ。雨模様、水は暗緑色に濁る。鳥影見えず暗鬱な景色。

{2月上旬}

日の出、6時42分。歴に「立春、春の気立つをもってなり」とあるが春の気配は薄い。2日残雪ようやく消える。池の氷は厚い。3日、コサギが池で小魚を啄んでいた。冬桜、すっかり散る。3日、里桜の梢に3羽のムクドリが留まっていた。セキレイの番が軽快に跳ねる。河は雪解けの水をたたえ黄褐色に濁っている。透視度30以下。藻はしぶとく階段に張り付いている。

5日(木)真光寺川通信発行業務

14時から支所で印刷、参加5名。関係先へ配布する。夕刻から一木会予定だったが降雪予報のため中止となる。

8日(日)散策会中止

近藤勇等が歩いた布田道を散策する予定だった。6日軽い降雪があったため黒田さんが前日わざわざ下見をしOKとなる。然し当日は悪天候の気象予報だった。残念ながら最終的に中止となった。

{2月中旬}

日の出・6時34分。快晴の日が続いたが18日以降雨となる。里桜によくムクドリが訪れるようになる。スズメが群れをなしている。藻は殆ど変化が見られない。例年この時期に花をつける蠟梅が見えない。驚いたことに樹そのものが見当たらない。伐採されてしまったのだろうか。

{2月下旬}

日の出・6時23分。歴に「雨水、陽気地上に発する」とある。23日、気温上がり4月中旬の気候となる。雨と晴天が交差し季節は確実に春に向かっていく。下堰はカモ、スズメ、セキレイ、ムクドリが訪れ賑やかだ。26日、カワセミの飛翔が見られた。藻、水温が上がると確実に成長している。周辺の梅は何時の間にか満開となる。池のほとりの紅梅は開花が遅い。ようやく二、三輪ほころび始める。

27日(金)昼下がり悠々園へ。水は相変わらず青黒さをたたえて流れている。下堰の下手のゴミ集積箇所にはゴミ袋が10個ほど積み上げてられていた。誰か清流会以外の方が周辺のゴミを拾って下さったのだろうか?(この項おわり)